

2018 年度事業報告書

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

2018 年度 活動テーマ

次世代へつなぐ、これからのヒーブ ー 生活者視点と多様性を企業で発揮するー

今年度は、上記活動テーマのもと以下の内容を中心に活動を行った。

1. 消費者志向経営と男女共同参画の両軸で会員のスキルアップとネットワーク形成を目的に活動を実施した。また、40 周年記念事業として 40 周年記念シンポジウムと関西支部 35 周年記念セミナーの開催、40 周年記念誌の発行を行い、会員の一体感醸成と協議会の認知度向上に寄与した。
2. 研究会推進グループは、活動テーマや会員ニーズを反映した月例研究会を企画・運営した。会員の能力・資質向上とネットワーク醸成を目的に、消費者関連(2 回)、マーケティング・ビジネススキル(4 回)、企業見学会(1 回)、会員交流会(3 回)等を実施し、40 周年記念シンポジウムについても、当グループが中心となり開催した。また、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会より認定を受けた「電話応対技能検定(もしもし検定)」の実施機関として、スキルアップセミナーと検定試験(4 級)を東京(1 回)と九州(2 回)で開催した。
3. 組織の活性化を図るグループは、協議会の円滑な運営に向けた定款施行規則の改定と会員拡大に向けた活動(企業訪問・説明、公開講演会の案内、月例研究会の体験参加等)を積極的に展開した。特に、40 周年記念シンポジウム等への参加者を中心に、当協議会への理解を深めていただくためのフォローを実施した。また、OG へのヒアリング等を通じて、当協議会の歴史と価値を再認識する機会を積極的に創出した。
4. 広報グループは、協議会の価値・認知度を高めるため、協議会の活動を効果的に広報した。定例活動、講演活動、表彰・マスコミ掲載等を、今年度始めた Facebook も活用しタイムリーにリリースした。1 年間の活動については、広報誌「レポートヒーブ」に取りまとめ、会員企業へのフィードバックをはじめ、協議会の認知度向上や会員拡大に向けた情報発信に寄与した。
5. 調査グループは、「調査・消費者関連情報分科会」をマネジメントし、40 周年記念誌の深堀から、分科会として生活者・企業・行政への提言を取りまとめた。また、『第 4 期消費者基本計画のあり方に関する検討会』中間取りまとめに関する意見を検討・提出し、協議会としての意見を発信した。
6. 関西支部は、会員全員による月例研究会運営を通じた会員のスキルアップに加え、アンケートの見直しをはじめ、運営効率化に向けた検討を行った。また、関西支部 35 周年記念セミナーを開催し、40 周年記念事業と連動した情報発信や行政・関連団体・大学等との連携にも引き続き取り組んだ。
7. 九州支部は、「多様性ある未来を見つめて発信 ー企業価値を生活者視点で描こう！ー」をテーマに掲げて活動した。食品表示をテーマとしたヒーブセミナーの開催、東京月例研究会・シンポジウムのライブ配信や電話応対技能検定(もしもし検定)4 級の開催等、新たな取り組みにもチャレンジした。
8. 「お客様の声を活かした取り組み 55 事例/33 事例」等を活用した講演会、各種情報発信については、自治体や大学に向けて計 15 回実施した。
9. 事務局については、例年に引き続き運営費を抑えて、活動費を確保する等、業務の効率化を推進し、会員活動を充実させるべく最適化を図った。

年間テーマにもとづいて月例研究会・分科会を開催し、会員が協議会の運営や研究活動に主体的に携わることで、東京・関西・九州が一体感を持って活動することができた。

2018 年度代表理事 梶原 織梨花

I. 2018 年度事業実績

【グループ活動（東京本部）】

1. 企画グループ

代表理事の諮問機関として、協議会運営が円滑かつ効果的に行われるよう努めるとともに、行政・他団体等と積極的な情報交換を行い、協議会の活動を社会にアピールした。

(1) 理事会の開催

理事会	4月20日(金)	5月10日(木)	6月6日(水)
	7月4日(水)	8月8日(水)	9月4日(火)
	10月4日(木)	11月2日(金)	12月6日(木)
	1月9日(水)	2月6日(水)	3月1日(金)
準備理事会	3月26日(火)		

(2) 消費者・各種団体・企業等への情報提供・教育活動

協議会が作成した事例集やマニュアル等を活用し、生活者と企業の連携の必要性や消費者志向経営について、情報提供・教育活動を展開した。

(3) 行政・関連団体の主催する行事等への参画

以下のとおり、行政の委員会・会議、関連団体のシンポジウム等へ、理事・監事を中心に参加した。

実施日	内容	主催	エリア	出席者
5月28日(月)	平成30年度消費者支援功労者表彰表彰式	消費者庁	東京	監事 脇田真知
5月28日(月)	平成30年度消費者月間シンポジウム・懇談会	消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨花 副代表理事 鈴木聖子 監事 脇田真知 監事 林真由美 運営G 宮木由貴子
6月7日(木)	知的財産政策に関する意見交換会	内閣府 知的財産戦略推進事務局	東京	代表理事 梶原織梨花
6月11日(月)	NACS30周年記念式典	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	東京	代表理事 梶原織梨花 副代表理事 鈴木聖子
6月12日(火)	消費者志向経営推進組織運営会議	消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨花 副代表理事 鈴木聖子
6月12日(火)	女性活躍推進講演会	関西経済連合会	関西	関西支部会員 川口徳子
6月13日(水)	平成30年度定時総会記念パーティ	国民生活産業・消費者団体連合会	東京	代表理事 梶原織梨花 副代表理事 鈴木聖子
6月15日(金)	ACAP福岡例会	消費者関連専門家会議	九州	九州支部長 花田泉 九州副支部長 岩井美樹
6月17日(日)	NACS西日本支部のつどい	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	関西	副代表理事 鈴木聖子 関西副支部長 赤林幸
6月27日(水)	平成30年度男女共同参画づくりに関する懇談会	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨花
7月27日(金)	男女共同参画推進連携会議「経済分野における女性の活躍促進」第2回会合	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨花
8月31日(金)	消費者教育ワークショップ in ネット	文部科学省	東京	資料展示
9月26日(水)	主婦連合会70周年を祝う会	主婦連合会	東京	代表理事 梶原織梨花 副代表理事 鈴木聖子
10月5日(金)	ヘルスケアサービスガイドラインに関する意見聴取会	経済産業省 ヘルスケア産業課	東京	監事 脇田真知 代表理事 梶原織梨花

10月13日(土) 10月14日(日)	日本消費者教育学会 第38回全国大会	日本消費者教育学会	関西	代表理事 梶原織梨江 理事 藤脇智恵子 関西支部会員 川口徳子
10月16日(火)	男女共同参画推進連携会議 「次世代への働きかけ」第2回会合	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
10月17日(水)	第183期消費者大学 「公開シンポジウム」	消費科学センター	東京	監事 林真由美
10月30日(火)	男女共同参画推進連携会議全体会議	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
10月30日(火)	UCDAアワード2018	エコーサルコミュニケーションデザイン協会	東京	副代表理事 鈴木聖子
11月5日(月)	リーダーシップ111シンポジウム2018	リーダーシップ111	東京	代表理事 梶原織梨江
11月15日(木)	男女共同参画推進連携会議「経済分野 における女性の活躍促進」第3回会合	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
11月15日(木)	平成30年度消費者志向NACS会議	日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会	東京	副代表理事 鈴木聖子
11月19日(月)	平成30年度消費者教育フェスタ in 姫路	文部科学省	関西	理事 藤脇智恵子
11月21日(水)	コンシューマー・オフィサー連絡会	日本消費者協会	東京	副代表理事 鈴木聖子
11月26日(月)	消費者志向経営推進シンポジウム	消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 鈴木聖子
11月30日(金)	第40回消費者問題懇話会	日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会	東京	代表理事 梶原織梨江
11月30日(金)	コネット企業セミナー	消費者情報ネット	関西	関西支部会員 川口徳子
12月4日(火)	ヘルスケアサービスガイドラインに 関する検討委員会第1回検討委員会	経済産業省 ヘルスケア産業課	東京	監事 脇田真知 代表理事 梶原織梨江
1月8日(火)	平成30年度消費者教育推進フォーラム	消費者庁、文部科学省他	東京	理事 藤脇智恵子
1月16日(水)	ACAP賀詞交歓会	消費者関連専門家会議	東京	副代表理事 鈴木聖子
1月24日(木)	ACAP西日本支部賀詞交歓会	消費者関連専門家会議	関西	代表理事 梶原織梨江 関西支部会員 松島知子
1月30日(水)	男女共同参画推進連携会議 「次世代への働きかけ」第3回会合	内閣府男女共同参画局	東京	代表理事 梶原織梨江
2月12日(火)	消費者行政新未来創造オフィスの 調査分析の成果報告会	消費者庁	東京	監事 脇田真知
2月15日(金)	2019消費志向経営トップセミナー	消費者関連専門家会議 日本経済団体連合会 消費者庁	東京	代表理事 梶原織梨江 理事 藤脇智恵子 監事 脇田真知
2月26日(火)	平成30年度全国消費者フォーラム	国民生活センター	東京	代表理事 梶原織梨江 副代表理事 鈴木聖子 理事 藤脇智恵子 監事 脇田真知 関西支部会員 川口徳子
2月27日(水)	ヘルスケアサービスガイドラインに 関する検討委員会第2回検討委員会	経済産業省 ヘルスケア産業課	東京	監事 脇田真知 代表理事 梶原織梨江
3月1日(木)	新たなJAS制度説明会 (神戸会場)	農林水産省	関西	関西支部会員 川口徳子
3月3日(日)	ひょうごロールモデルカフェ	スマセレ	関西	関西支部会員 長尾由佳
3月14日(木)	ヘルスケアサービスガイドラインに 関する検討委員会第3回検討委員会	経済産業省 ヘルスケア産業課	東京	監事 脇田真知 代表理事 梶原織梨江

(4) 平成31年度消費者支援功労者表彰等候補者の推薦

消費者支援功労者表彰等候補者の推薦団体として、正会員に対し、消費者支援に貢献している個人・団体を公募し、消費者支援に貢献した個人・団体の推薦について幅広く検討を行った結果、2018年10月に推薦手続きを行った。

(5) 行政機関との連携

- ・消費者庁とは、消費者志向経営推進組織メンバーとしての活動や、東京月例研究会における消費者白書の解説（消費者調査課）、九州支部食品表示セミナーへの登壇（食品表示企画課）、調査・消費者関連情報分科会における消費者基本計画の解説（消費者政策課）等を通じ、継続的な連携を行っている。
- ・内閣府とは、男女共同参画推進連携会議への参加や男女共同参画局との意見交換等で連携を深めている。知

的財産戦略推進事務局とは意見交換に加え、局長には40周年記念シンポジウムにご登壇いただいた。

- ・経済産業省とは、経産省商務流通保安グループとの懇談会に参加した他、ヘルスケア産業課「ヘルスケアサービスガイドラインに関する検討委員会」へ委員を派遣し、連携を強めている。
- ・農林水産省とは、関西・九州を中心に情報交換等を行い、食品関係における連携を継続している。

(6) 税理士訪問・相談

10月26日、3月19日に染谷税理士を訪問し、会計および事業活動の進捗状況を報告し、会計の適正運用について確認・相談を実施した。

(7) 40周年記念事業

2年間にわたり、40周年記念事業に取り組んだ。40周年記念誌「Design the Future 生活者と企業のこれからを描く」を編纂し、9月7日に開催した40周年記念シンポジウムにおいて発表した。また、協議会の紹介動画を作成し、40周年記念シンポジウムや関西支部35周年セミナーで上映し、会員の一体感醸成ならびに社会への発信を強化した。

2. 研究会推進グループ

会員の能力・資質の向上およびネットワーク醸成に向け、以下の取り組みを通じて会員の積極的な参画意識を高め、協議会活動のメリットを実感するとともに、会員相互のコミュニケーション強化・支援を図った。

(1) 2018年度(第16回)総会・公開講演会・情報交換会の運営

新体制での新たなスタートを迎えるべく、会員や会員上司・同僚、行政等の方々をお迎えし公開講演会・情報交換会を行った。また、9月に開催した40周年記念シンポジウムを見据え、講演会講師・テーマを選定した。

<公開講演会・情報交換会詳細>

開催日：4月20日(金)

会場：都市センターホテル

司会：(公開講演会) 青山小巻 第一生命保険(株)

(情報交換会) 中村美佐 サントリーコミュニケーションズ(株)

参加者：公開講演会 86名 情報交換会 81名

テーマ：イノベーションと新たな価値を創出する「ヒーブ」という存在

講師：日経BP 総研フェロー 日経ウーマン元編集長 麓幸子氏

(2) 月例研究会の運営

- ・活動テーマにもとづき、①消費者関連(6月・2月) ②マーケティング・ビジネススキル(7月・11月・12月・1月) ③企業見学会(10月) ④会員交流(5月・8月・3月)等のテーマを選定し、会員ニーズを反映しながら講演内容の充実を図った。
- ・協議会活動への理解を深めていただくため、会員上司・同僚も参加できる(セミ)公開講座を適宜開催した。
- ・会員間の情報共有を目的とし、分科会持ち回りで月例研究会のレポートを作成し、ホームページで発信した。
- ・業務効率化を図り、参加者アンケートのWeb化を開始した。

【月例研究会詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月18日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	5月度月例研究会	◆2018年度運営体制説明会 キックオフミーティング ◆会員交流茶話会	運営体制説明 30名 茶話会 28名
2	6月19日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	6月度月例研究会	◆分科会活動 キックオフミーティング ◆セミ公開講座 「消費者白書について」 消費者庁 消費者調査課 澤井景子氏 「平成30年度消費者支援功労者表彰 内閣府特命担当大臣表彰受賞 記念講演」 (株)資生堂 片岡まり氏	分科会 34名 セミ公開講座73名
3	7月10日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	7月度月例研究会	◆分科会活動 ◆正会員限定講座 「体験型学習を通して、SDGsを学ぼう」 日本生命保険(相)村松賢一氏	分科会 31名 正会員限定講座33名
4	8月3日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	電話対応技能検定 (もしもし検定)	◆ビジネスコミュニケーションスキルアップ セミナー ◆電話対応技能検定(もしもし検定)4級 日本ハム(株) 山下みどり氏	受験者 26名
5	8月22日(水) 8月23日(木)	8月度月例研究会	◆集中分科会 ※分科会毎に開催日・場所を設定	集中分科会 38名
6	10月18日(木) サントリー 白州蒸溜所	10月度月例研究会 (企業見学会)	◆蒸溜所見学・シングルモルトセミナー サントリースピリッツ(株)佐野博氏 ◆お客様対応セミナー サントリーパブリシティサービス(株) 阿久根梢氏	企業見学会 30名
7	11月20日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	11月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 「お米の世界へようこそ！今日からあなたも ごはん党～実例からみるお米の消費動向最 前線について～」 小池精米店 小池理雄氏	分科会 36名 セミ公開講座36名
8	12月12日(水) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	12月度月例研究会	◆分科会活動 ◆公開講座 「2018年ヒット商品+2019年トレンド予測 -2020年に向けて何を考えるべき？」 商品ジャーナリスト 北村森氏	分科会活動 30名 公開講座 83名
9	1月23日(火) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	1月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 「企業に求められるダイバーシティ経営」 NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイ ン協会 中石真一路氏 日本生命保険(相)梶原織梨江	分科会 35名 セミ公開講座45名
10	2月19日(火) 花王(株) すみだ事業場	2月度月例研究会	◆分科会活動 ◆セミ公開講座 「ISO10002をベースにした海外お客様相談室 との取り組み強化と、大人用紙おむつ相談に おけるAIChatbotの活用等、ユニ・チャーム (株)お客様相談センターの活動について」 ユニ・チャーム(株)原弘行氏	分科会 39名 セミ公開講座75名
11	3月23日(金) 明治安田生命保険 (相)新東陽町ビル	3月度月例研究会	◆分科会活動 ◆分科会活動報告会 ◆会員交流会	分科会 34名 報告会 43名 交流会 33名

(3) 40周年記念事業

40周年記念事業として公開講演会(シンポジウム)および情報交換会を開催した。会員に加えて、賛助会員企業、行政・関連団体、マスコミ、ヒーブOGにも多数参加いただき、40周年を祝うとともに、協議会として5年、10年先を見据えたアクションの方向性を提言する機会となった。

<シンポジウム詳細>

40 周年記念シンポジウム「Design the Future 生活者と企業のこれからを描く」

開催日：9月7日(金)

会場：MYPLAZA ホール

参加者：公開シンポジウム 150 名、情報交換会 103 名

司会：(講演会) 雨宮絵歩 富国生命保険 (相)

(情報交換会) 岡本有可 日本ハム食品 (株)

【基調講演】

テーマ：AI ネイティブ時代を我々はどう生きるか

講師：慶應義塾大学環境情報学部教授、ヤフー株式会社 CSO 安宅和人氏

【トークセッション】

パネリスト：内閣府知的財産戦略推進事務局長 住田孝之氏

慶應義塾大学環境情報学部教授、ヤフー株式会社 CSO 安宅和人氏

モデレーター：(株) 第一生命経済研究所調査研究本部ライフデザイン研究部主席研究員 宮木由貴子

(4) 分科会の運営

・毎月の分科会活動では、下記4つの研究テーマに分かれ、異業種交流の特徴を活かした情報交換や議論を積極的に行い、3月度月例研究会では1年間の研究成果を発表し共有化を図った。

- ① お客様対応を考える分科会
- ② 調査・消費者関連情報分科会
- ③ 商品・サービス研究分科会
- ④ 月例会企画・運営分科会

3. 組織の活性化を図るグループ

協議会の基盤整備ならびに会員の積極的な活動参画に向けて以下の活動に取り組んだ。

(1) 2018 年度 (第 16 回) 総会の運営

	役割	担当
司会	総合司会	青山小巻 第一生命保険 (株)
	情報交換会司会	中村美佐 サントリーコミュニケーションズ (株)
議長団	議長	唐津恵子 サッポロビール (株)
	副議長	豊田直美 雪印メグミルク (株)
	書記	荒井祐貴子 山崎製パン (株)
報告者	2017 年度事業報告	2017 年度代表理事：宮木由貴子 (株) 第一生命経済研究所
	2017 年度決算報告	2017 年度会計：梶原織梨江 日本生命保険 (相)
	監事による事業及び会計監査報告	監事：脇田真知 (一財) サンスター財団 監事：林真由美 アサヒビール(株)
	2018 年度役員選任	選挙管理委員長：宮木由貴子 (株) 第一生命経済研究所
	2018 年度事業計画	2018 年度代表理事：梶原織梨江 日本生命保険 (相)
	2018 年度予算計画	2018 年度会計：藤脇智恵子 第一生命保険 (株)

(2) 会員の管理と拡大

- ・会員拡大に向けて積極的な取り組みを行った。月例研究会や講演会を戦略的に活用し、会員企業以外の聴講者を募り、当日およびその後のフォローを行った。
- ・異業種交流のメリットを活かすため、7月に会員名簿の情報更新を行った。併せて、会員の保有資格や特技等の調査を行い、会員の推薦・講師派遣に向けての会員データ構築を継続した。

(3) 会員継続および新規加入への働きかけ

協議会の活動について説明し、会員継続および新規加入等の働きかけを積極的に行った。

- ・総会やシンポジウムに参加いただいた企業を中心に、新規加入に向けたフォローを行った。
- ・(賛助) 会員企業に対して、活動への理解を得て継続を依頼した。

(4) 定款施行規則の改定

- ・定款施行規則第4条(会費)3項を追加し、定款施行規則(第16版)を2018年4月20日に発行した。
- ・定款施行規則第4条(会費)1項(1)を追加し、定款施行規則(第17版)を2019年2月6日に発行した。

(5) 交流会の開催

- ・東京本部、関西支部、九州支部で一律に交流会費の予算計上を行い、会員同士の交流機会を提供した。
- ・東京本部では、月例研究会等にあわせて、分科会別交流会を1回、全体交流会を1回(3月)実施した。

(6) 会員へのガイダンス

協議会に関する会員の理解を深める目的で、5月度月例研究会のキックオフミーティングにおいて、協議会の概要、活動テーマ、スケジュール等を代表理事より説明した。

(7) 理事会だよりの発行

理事会の議題の中からトピックスをまとめ、会員に報告した。

(8) 理事・監事選挙

- ・2019年度役員選出のための選挙管理委員会を発足させ、選挙活動が滞りなく進むよう補佐した。

【選挙管理委員会】

	支部	氏名	会社名
委員長	東京	宮木由貴子	(株) 第一生命経済研究所
委員	東京	三田まり子	(株) 販売促進研究所
委員	関西	川口徳子	日本ハム(株)

- ・選挙の結果、代表理事候補者1名、留任理事候補者6名、新任理事候補者4名、留任監事候補者1名が信任された。

4. 広報グループ

協議会の価値・認知度を高めることを目指し、以下の広報活動に取り組んだ。

(1) 「レポートヒーブ」「What is HEIB?」の発行

機関誌「レポートヒーブ」を発行し、1年間の活動報告を行った。また、「What is HEIB?」を更新し、会員だけでなく非会員企業へのPRに活用することができた。

(2) ホームページ・Facebook の運営

より効果的かつタイムリーな情報発信を目的とし、協議会の公式 Facebook を開設した。ホームページと連携する等、両者を活用して協議会の認知度向上や会員拡大に向けて取り組んでいる。

<ヒーブ NEWS・お知らせ発行（ホームページ）>

【タイトル】

<2018年5月11日>特別会員の片岡まりさんが、平成30年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました

<2018年12月11日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（おいしいシリーズ Vol.1 パンのおいしい保存方法は？）

<2019年01月11日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（おいしいシリーズ Vol.2 「カロリーゼロ」と「カロリーオフ」って何が違うの？）

<2019年02月12日>【教えてヒーブ】知っておきたい生活情報を紹介！（おいしいシリーズ Vol.3 スパークリングワインの正しい開け方は？）

(3) 講演会等

以下のとおり、関西支部を中心に自治体・大学への講演会等へ講師を派遣した。

実施日	主催	講演テーマ	講師
4月28日(土)	大学生協関西北陸事業連合 コンシューマーズ京都	大学生協関西北陸事業連合学生事務局研修 お客様の声を活かした企業の取り組み ～消費者市民社会・消費者志向経営の実現に向けて～	関西支部会員 川口徳子
6月7日(木)	関西学院大学 経済学部	関西学院大学経済事情E「市場経済と消費者問題」第9回 企業と生活者をつなぐ ～消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて～	関西支部長 龍麻衣
8月26日(日)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座第3弾 お客様の声を活かした企業の取り組み	関西支部会員 川口徳子
8月28日(火)	大学生協関西北陸事業連合	大学生協関西北陸事業連合ショップ店長会議 消費者の声の共有のしくみ	関西支部会員 川口徳子
9月24日(月)	高知県立消費生活センター 高知県立大学	高知県立消費生活センター・高知県立大学連携講座「消費生活講座」 私たちの声の商品を変える ～消費者と企業の信頼ある関係をめざして～	関西副支部長 山内久美
10月14日(日)	日本消費者教育学会	日本消費者教育学会 第38回全国大会 企業による大学生への消費者市民教育の実践と評価	関西支部会員 川口徳子
11月18日(日)	大阪府消費生活センター	大学生期における消費者教育推進事業 消費者教育リーダー養成講座第3弾 お客様の声を活かした企業の取り組み	関西支部会員 川口徳子
11月19日(月)	全国大学生生活協同組合連合会 関西北陸ブロック	ミライ・クリエイティブセミナー ～未来を見据えたかしこい就活～	関西支部会員 清水佑美
11月21日(水)	日本消費者協会	コンシューマー・オフィサー連絡会11月例会 いま、私たちに求められていることを再考する ～お客様の声を活かした取り組み55・33事例から～	第32・33期 代表理事 高野逸子
12月5日(水)	国民生活センター	平成30年度消費生活相談員研修専門・事例講座 食品関連の法律、商品知識と消費者トラブル 消費者に分かりやすい表示および安全・安心への取り組み ～ニッポンハムグループの安全・安心への取り組み～	関西支部会員 川口徳子

12月17日(月)	神戸市 神戸学院大学	神戸学院大学「現代の社会(消費者問題)」第12講 生活者と企業をつなぐ ～消費者市民社会・消費者志向経営の実現に向けて～	関西支部会員 川口徳子
1月22日(火)	国民生活センター	平成30年度消費生活相談員研修専門・事例講座 食品関連の法律、商品知識と消費者トラブル 消費者に分かりやすい表示および安全・安心への取り組み ～ニッポンハムグループの安全・安心への取り組み～	関西支部会員 川口徳子
2月26日(火)	国民生活センター	消費者フォーラム 第1分科会 企業による大学生への消費者市民教育の実践	関西支部会員 川口徳子
		消費者フォーラム 第5分科会 「ひとり暮らしの若者」に向けた生活情報の発信 ～生活者と企業の認識のギャップを知り解消する活動～	代表理事 梶原織梨江 他
3月3日(日)	スマセレ	ひょうごロールモデルカフェ ライフストーリーを描いてみよう	関西支部会員 長尾由佳

<出版物・印刷物>

名称	発行年月	発行部数	内容
レポートヒーブ 77号	2019年3月	1,000	東京・関西・九州の会員コメントや写真を掲載し、 当協議会の年間活動報告をわかりやすく紹介
What is HEIB?	2019年3月	1,000	当協議会の活動内容や入会案内等を掲載

<マスコミ等記事掲載【所信表明関連】>

新聞名・誌名	社名・団体名	掲載日	タイトル
消費と生活 (No345)	(株)消費と生活社	2019年1・2月号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2019年1月1日号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江
日本消費経済新聞	日本消費経済新聞社	2019年1月1日号	「年頭所感」代表理事 梶原織梨江 関西支部長 龍麻衣

<マスコミ等記事掲載【その他】>

新聞名・誌名	発行者	掲載日	タイトル
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2018年5月1日号	「ヒーブ総会・講演会」 設立40周年へヒーブの使命確認
ニッポン消費者新聞	日本消費者新聞社	2018年6月1日号	「消費者問題はいま提言二〇一八」 代表理事 梶原織梨江
消費と生活 (No344)	消費と生活社	2018年11・12月号	日本ヒーブ協議会 40周年記念シンポジウム
テレコム・フォーラム 12月号	日本電信電話 ユーザ協会	2018年12月号	異業種交流の輪の中で 電話対応技能検定(もしも検定)を採用、 企業と生活者双方のメリットを探求

5. 調査グループ

今年度は、40周年記念誌の「将来を描く」をさらに深掘りするため、「人生100年時代のコミュニケーション」をテーマに、分科会として、生活者・企業の10年後の「ありたい将来」像を描き、生活者・企業・行政への提言としてまとめた。

また、集中分科会において、消費者庁より「第4期消費者基本計画」をご説明いただき、分科会が中心となり、『第4期消費者基本計画のあり方に関する検討会』中間取りまとめに関する意見を検討、提出し、協議会としての意見を発信した。

(1) 活動形態

「調査・消費者関連情報分科会」として活動を行った。

(2) 活動内容

実施	内容
5月	分科会キックオフミーティング（年間活動計画発表）
6月	オリエンテーション ・今年度の分科会活動予定の確認・検討 ・40周年記念誌のコンセプト確認
7月	勉強会・検討会① ・40周年記念誌、確認内容をベースに勉強会、意見交換
8月	インプット① ・第4期消費者基本計画に関するレクチャー（消費者庁） 集中分科会（検討会②） ・40周年記念誌＋確認内容をベースに意見交換、仮説の整理 「『第4期消費者基本計画のあり方に関する検討会』中間取りまとめに関する意見」の検討、提出
9月	インプット② ・40周年記念シンポジウム
11月	検討会③ ・学生との意見交換会に向けた仮説（ありたい未来）、質問事項の整理
12月	学生インタビュー ・次世代である学生と40周年記念誌内容や分科会で検討した仮説（ありたい未来）についての意見交換の実施
1月	成果物作成 ・12月までの検討内容から成果物（仮説・提言）の検討
2月	成果物（仮説・提言）完成
3月	分科会活動報告

【支部活動】**1. 関西支部**

今年度の活動テーマにもとづき、月例研究会・公開講演会・企業見学会・分科会活動等を通じて、会員が将来を見据えて次の行動を考え、より良い消費社会を描けるような活動に取り組んだ。

10月には、ヒーブ関西支部35周年記念セミナーとして「多様な働き方の未来をそうぞうしよう」を開催した。第一部では、テレワークを活用した柔軟で多様な働き方に関する講演に加え、在宅勤務者の仮想オフィスを訪問し、会場にいながらテレワークを体験することができた。第二部では、ヒーブカフェ（ワールドカフェ）のファシリテーターに関西支部OGを迎え、全員で10年後の働き方についてワクワクしながら活発な意見交換を行い、参加者から高い評価を得た。

企業見学会や講演会、スキルアップセミナーでは、多様な働き方・考え方・企業事例等を学び、今日求められている消費者志向経営と多様性、次世代の消費や社会を見通すための知識と想像力を得る機会を創出した。

月例研究会の運営においては、関西支部の正会員を2グループに分け、各グループの担当月を設定した。グループリーダーを定めず毎月の運営リーダーを当番制とすることで、会員の一部に負担が偏ることもなく、シンプルに運営することができた。このような全員運営体制により、当協議会の強みである異業種ネットワークを活用しながら、企画・遂行力、組織運営力、課題解決力等、会員一人ひとりのレベルアップ・キャリアアップにも貢献することができた。

ヒーブ視点での消費者教育では、「産・官・学・消」の産業界の立場から、大阪府・兵庫県・高知県等関西支部エリアの各地で講義を行った。

【関西支部理事】

支部長 龍麻衣 (株) Mizkan Holdings

副支部長 山内久美 (株) アンデルセン・パン生活文化研究所

<活動実績>

(1) 月例研究会活動

①月例研究会

- ・ヒーブとして求められる資質（現状把握力・問題発見力・判断力、問題解決力・プレゼンテーション力等）と能力の向上を目指し、講演会、企業見学会、スキルアップセミナーをバランスよく実施した。
- ・5月の公開講演会、10月のヒーブセミナーにおいては、上司・同僚や他団体から、多くの方に参加いただき、協議会への理解を深めていただくとともに、交流の機会を創出した。

②運営制度

- ・例年通り全員運営を行うにあたり、理事が中心となって、マニュアルの見直しや雛形の作成等の運営改善を年度初めに行った。
- ・アンケート内容の見直しを行い、次年度以降の活動に反映できる仕組みづくりと、運営効率化を目的としたWEBアンケートの導入について活発に議論した。

③月例研究会の記録

- ・月例研究会については、開催レポートやアンケート結果等を会員へ報告し、研究会活動で得た情報の共有・定着を図った。

④月例研究会でのディスカッション

- ・協議会活動を通じて、会員一人ひとりがさらなるレベルアップ・スキルアップを図るため、1月度の月例研究会では、今年度の振り返りと次年度の活動計画・運営方法について積極的にディスカッションを行った。

【月例研究会・公開講座詳細】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	5月9日(水) 大阪市中央公会堂	関西支部大会 公開講演会 情報交換会	◆ガイドンスミーティング ◆関西支部大会 ◆公開講演会 「ロイヤルホテルのおもてなしを消費者志向経営に活かす」 (株)ロイヤルホテル 執行役員 中川智子氏 ◆情報交換会	ガイドンスミーティング 6名 支部大会 16名 公開講演会 67名 情報交換会 35名
2	6月20日(水) 第一生命保険(株)	6月度月例研究会 情報交換会	大阪北部地震のため開催中止	—
3	7月19日(木) 日本ハム(株)	7月度月例研究会	◆会員お仕事紹介 ◆講演会「消費者の声をいかに聴くか、心をいかに捉えるか —あゆみシューズによる消費者志向経営—」 徳武産業(株) 会長 十河孝男氏 ◆運営グループミーティング	お仕事紹介 11名 講演会 20名
4	8月23日(木) 第一生命保険(株)	8月度月例研究会 顧客ロイヤルティを 考える分科会	◆講演会「顧客ロイヤルティ向上へのNPS活用事例」 損害保険ジャパン日本興亜(株) 業務品質部企画グループ担当部長 神谷恵美氏 ◆第一生命大阪コンタクトセンター見学 ◆運営グループミーティング	講演会 20名 見学会 14名
5	9月19日(水) 麒麟ビール(株) 神戸工場	9月度月例研究会 企業見学会	◆講演会「麒麟のCSVと品質向上への取り組み」 麒麟ビール(株) 神戸工場 副工場長、品質保証室長 片山貴仁氏 ◆工場見学	講演会 15名 工場見学 15名

6	10月31日(水) 大阪市中央公会堂	関西支部 35周年記念 セミナー	◆ヒーブ40周年記念事業報告 ◆講演会「新しい働き方が女性の生き方を変える」 ～テレワークから始まる未来を体験～ (株)テレワークマネジメント、(株)ワイズスタッフ 代表取締役 田澤由利氏 ◆ヒーブカフェ「多様な働き方の未来をそうぞうしよう」 ファシリテーター (株)ダスキン メリーメイド事業部 外国人家事支援人材受入PJ 主幹 大石純子氏	公開講演会 66名 ヒーブカフェ 60名
7	11月27日(火) OMMビル	ACAP・ヒーブ 合同月例研究会 情報交換会	◆講演Ⅰ 「女性起業家としての半生及び コールセンターサービスとの取組み」 (株)シー・シー・ダブル 代表取締役社長 金成葉子氏 「コンタクトセンターにおける 顧客コミュニケーションの今と未来」 (株)プロシード コンサルティング部 シニアコンサルタント 教矢英子氏 ◆講演Ⅱ 「女性が輝けば社会が輝く～多様な人材の活用～」 積水ハウス(株)CSR部長 小谷美樹氏 ◆情報交換会	講演会 24名 情報交換会 16名 (ヒーブ側のみ)
8	12月12日(水) 大同生命保険(株) 大阪本社ビル	12月度月例研究会 顧客ロイヤルティを 考える分科会	◆関西支部月例会アンケートの内容と運用見直し ◆自社アンケートに関する情報交換	分科会 7名
9	1月16日(水) 第一生命保険(株)	1月度月例研究会	◆ふれあいランチ ◆2018年度振り返り、2019年度計画・予算策定	ランチ 11名 振り返り 11名
10	2月20日(水) (株)ダスキン本社	2月度月例研究会 スキルアップセミナー	◆講演会 「ユーザー起点の価値創造と行動観察」 (株)オーグス総研 行動観察リフレーム本部 コンサルティング営業部 鈴村一美氏 ◆2019年度計画	講演会 15名 振り返り 12名
11	3月20日(水) コープ・ラボ たべる*たいせつ ミュージアム	3月度月例研究会 企業見学会	◆ミュージアム見学 ◆ワークショップ 「この味どの味?(味覚テスト・糖質しらべ)」 ◆(株)コンシェルジュ コールセンター見学	見学会 10名

(2) 広報活動

他団体・行政・大学・日本消費者教育学会との交流や、関連団体等と協働しながら当協議会の情報発信や消費者教育活動等を行った。

(3) 組織活動

① ガイダンスミーティング

・5月支部大会時に新入会員を対象にガイダンスミーティングを実施し、当協議会についての理解を深めた。

② 振り返り

- ・今年度の活動や運営について良かった点と改善点を話し合い、会員の負担軽減に向けた改善を行った。
- ・分科会ではアンケート内容の見直しを行った。アンケート項目の変更やWEB回答の仕組みづくり等、次年度以降に活かす方法を検討した。

③ 情報交換会

・5月支部大会、11月ACAP・ヒーブ合同月例研究会において情報交換会を、1月度月例研究会において情報交換(ふれあい)ランチを開催し、会員間および他企業・関連団体との交流を図った。

④ お仕事紹介

・7月度月例研究会で「お仕事紹介」を実施し、会員同士の仕事内容への理解を深めた。

(4) 行政・関連団体の主催する行事等への参画、講演会への講師派遣

行政の委員会・会議、関連団体のシンポジウムへの参加、自治体・大学の講演会等へ講師を派遣した。
詳細については、【グループ活動】 1. 企画グループ (3)、4. 広報グループ (3) を参照。

(5) 今後の課題

- ① 運営において会員の負担が増えないよう、アンケートの WEB 化、レポートの簡素化をすすめる
- ② 過去のアンケート結果をホームページで閲覧できるよう環境を整える
- ③ 月例研究会の開催日は年度初めに年間計画を策定し、参加率の向上を目指す
- ④ 6 月には、会員お仕事紹介や情報交換ランチの実施とマニュアル等の運営方法の共有を行い、会員同士の連携強化を図る
- ⑤ 昨年度より立ち上げた分科会活動は、関西支部の現状を踏まえて次年度は一時休止とする
- ⑥ ヒーブOG宛に公開講演会やシンポジウム等を案内し、参加者数向上と会員拡大を図る

2. 九州支部

2017 年度から九州支部で掲げたクレド「人間力のある企業とは何かを考え、そのために行動します。人間力あふれる地域の生活者として、考え、行動します。一人の女性として、人間力を高めるために行動します」をベースに、昨年度のテーマ『有機的な関係性 (Organic Relation)』構築というキーワードのもと、『探そう！誰も置き去りにしない“〇〇”～想像力を磨こう～』から一歩進めて、今年度のテーマは、『多様性ある未来を見つめて発信～企業価値を生活者視点で描こう！～』とした。今年度は、「働き方」「働く現場」「地域」「女性活躍推進」等をキーワードに月例研究会を開催した。

今年度は、当協議会の活動に関心のある男性を賛助会員として迎え、多様性ある「生活者視点」を活動に活かすことができた。また、新たな試みとして、東京の月例研究会やシンポジウムをライブ配信することで、ロケーションギャップを超えた最新情報の共有を実現し、電話対応技能検定 (もしもし検定) 4 級講座の開催を通じて、会員のスキルアップだけでなく、ヒーブに求められる役割に資する有益な活動を実施することができた。

【九州支部理事】

支部長 花田泉 クリエイティブオフィスビーンズ
副支部長 岩井美樹 (有)リリアプロジェクト

<活動実績>

(1) 公開講座・ヒーブセミナー

今年度は、5 月支部大会において「ダイバーシティ経営を考える～誰もが働きやすい組織づくり～」をテーマに公開講座を開催した。多様な人材を貴重な財産と考えている企業の取組事例や雇用現場の課題や成功事例を取り上げ、インタビューダイアログ形式でテーマを掘り下げた。多様性と受容は企業だけでなく、社会全体の持続可能な発展へ繋がることを確認した。

8 月ヒーブセミナーでは、「その食べ物の原料の産地はどこ？～具体事例から見る&分かる！最新「食品表示」情報～」をテーマに、最新の食品表示を学んだ。また、生活者・企業・行政の対話を通じて、食品表示に関する理解深堀に加え、それぞれの立場で何をすれば豊かな社会が実現するのかを改めて考える機会となった。

新たな取組として、電話対応技能検定（もしもし検定）4級を2回（7月・2月）実施した。実践的なビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー（試験対策講座）を同時開催することで、受験者の理解がさらに深まり満足度も高かった。

（2）月例研究会

6月の東京月例研究会（平成30年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命大臣表彰」記念受賞講演）と9月の40周年記念シンポジウムを東京から福岡へライブ配信し、九州支部会員が最新情報を聴講することができた。

【月例研究会・公開講座】

	実施日・会場	名称	講演テーマ・講師	出席者数
1	4月5日(月) 博報堂プロダクツ第一会議室	運営委員会	支部大会・公開講座会議	4名
2	5月16日(水) アクロス福岡円形ホール	支部大会 公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ◆九州支部大会 ◆公開講座 「ダイバーシティ経営を考える 誰もが働きやすい組織づくり」 ◇NPO 法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会 理事長 中石真一路氏 ◇(株) チャレンジド・アソウ福岡本社 副部長 川口文子氏 ◇日本生命保険相互会社人材開発部輝き推進室 室長 梶原織梨江 <進行役> ◇九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー 加留部貴行氏 ◆名刺交換会 	52名
3	6月19日(火) 博報堂プロダクツ第一会議室	月例研究会	東京月例研究会（ライブ配信）	5名
4	6月20日(水) 博報堂プロダクツ会議室	運営委員会	8月ヒーブセミナー・もしもし検定会議	20名
5	7月14日(土) エイムアテイン会議室	公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー ◆電話対応技能検定（もしもし検定）4級 	20名
6	8月9日(土) エフコープ本部	運営委員会	8月ヒーブセミナー会議	2名
7	8月29日(水) アクロス福岡	ヒーブ セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ◆公開講演会 「その食べ物の原料の産地はどこ？ ～具体事例から見る&分かる！最新「食品表示」情報～」 【第一部】基調講演 「新しい加工食品の原料原産地表示制度について」 消費者庁食品表示企画課 課長補佐 渡邊悦夫氏 【第二部】事例報告 「エフコープの取り組み」 生活協同組合連合会コープ九州事業連合エフコープ 商品政策課課長 平尾誠也氏 【第三部】インタビューダイアログ 「行政・事業者・生活者で語る食品表示」 ◇消費者庁食品表示企画課 課長補佐 渡邊悦夫氏 ◇生活協同組合連合会コープ九州事業連合エフコープ 商品政策課課長 平尾誠也氏 ◇九州農政局消費・安全部表示・規格課課長 我澤一朗氏 ◇エフコープ組合員理事 篠澤真喜子氏 <進行役> ◇日本ヒーブ協議会関西支部会員 日本ハム(株) お客様サービス部 川口徳子 	41名
8	9月7日(金) 博報堂プロダクツ会議室	月例研究会	40周年記念シンポジウム（ライブ配信）	3名
9	2月16日(土) エイムアテイン会議室	公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビジネスコミュニケーションスキルアップセミナー ◆電話対応技能検定（もしもし検定）4級 	25名
10	3月18日(月) 博報堂プロダクツ会議室	運営委員会	今年度のまとめ、次年度の計画策定	4名

(6) 今後の課題

- ① 九州支部の活動ならびに組織運営の立て直し
- ② 会員各々の役割に応じた、一人ひとりが輝ける場を意識した活動
- ③ 社会の潮流や兆しを分析し、会員企業のみならず社会が求める公開講座・月例研究会の実施
- ④ 会員拡大

II. 組織

2018年度は、以下の役員および運営グループ等にて運営を行い、理事会を実施し具体的な活動に取り組んだ。

【役員】

代表理事	梶原織梨江	日本生命保険（相）
副代表理事	鈴木聖子	明治安田生命保険（相）
理事	伊藤千織	キリン（株）
理事	丹野富美恵	富国生命保険（相）
理事	土屋ゆかり	ライオン（株）
理事	中村さやか	花王（株）
理事	中村尚美	日新製糖（株）
理事	藤脇智恵子	第一生命保険（株）
理事	吉村美衣子	損害保険ジャパン日本興亜（株）
関西支部		
支部長	龍麻衣	（株）Mizkan Holdings
九州支部		
支部長	花田泉	クリエイティブオフィスビーンズ
副支部長	岩井美樹	（有）リリアプロジェクト
監事	林真由美	アサヒビール（株）
監事	脇田真知	（一財）サンスター財団

【運営グループ担当理事】

企画グループ	リーダー	梶原織梨江
研究会推進グループ	リーダー	鈴木聖子
組織の活性化を図るグループ	リーダー	藤脇智恵子
調査グループ	リーダー	丹野富美恵
広報グループ	リーダー	土屋ゆかり
関西支部	支部長	龍麻衣
九州支部	支部長	花田泉

【会員数】2019年3月31日現在

正会員	73人
うち関西支部	14人
うち九州支部	6人
休会	1人
個人会員	7人
賛助会員企業数	29社
特別会員	21人

【事務局】

〒151-0053
 東京都渋谷区代々木2丁目30番4号C-002
 TEL03-6869-0428 Fax03-6300-6555
 URL <http://www.heib.gr.jp>
 E-mail: heib-jimukyoku@heib.gr.jp
 辻村智恵子、助川文緒

2018年度 収支決算報告書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月 31日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

1. 一般会計

<収入の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前 期 繰 越 金	102,499	102,499	0
会 費			
正 会 員	4,920,000	4,245,000	675,000
個 人 会 員	144,000	132,000	12,000
小 計	5,064,000	4,377,000	687,000
入 会 金			
正 会 員	120,000	0	120,000
個 人 会 員	10,000	0	10,000
小 計	130,000	0	130,000
賛 助 会 費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000
雑 収 入			
預 貯 金 利 息	1,000	91	909
特 別 例 会 費	710,000	534,700	175,300
そ の 他	395,000	649,100	△ 254,100
小 計	1,106,000	1,183,891	△ 77,891
収 入 合 計	7,800,000	7,160,891	639,109
総 合 計	7,902,499	7,263,390	639,109

※ 特別例会費内訳

交流会会費	東京本部	240,000
	関西支部	102,000
	九州支部	0
講演会参加費	東京本部	149,400
	関西支部	0
	九州支部	43,300

<支出の部>

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
活 動 費 (東京・関西・九州合計)	3,335,000	2,522,524	812,476
東京	2,155,000	1,672,477	482,523
企画活動	90,000	261,584	△ 171,584
研究会推進活動	1,230,000	1,157,940	72,060
組織の活性化を図る活動	200,000	107,082	92,918
広報活動	635,000	145,871	489,129
調査活動	0	0	0
関西	750,000	584,490	165,510
九州	430,000	265,557	164,443
運 営 費	4,065,000	4,063,745	1,255
地代家賃	610,000	609,120	880
人件費	1,750,000	1,758,877	△ 8,877
税理士報酬	360,000	360,000	0
運賃・通信費	360,000	361,202	△ 1,202
交通費	455,000	501,775	△ 46,775
会議費	20,000	5,670	14,330
消耗品費	140,000	138,225	1,775
印刷費	160,000	154,592	5,408
支払手数料	70,000	47,952	22,048
交際費	10,000	0	10,000
租税公課	120,000	126,332	△ 6,332
雑費	10,000	0	10,000
支 出 合 計	7,400,000	6,586,269	813,731
当 期 剰 余 金	502,499	677,121	△ 174,622
総 合 計	7,902,499	7,263,390	639,109

2. 特別会計 40周年記念事業積立金

(単位：円)

科 目	金 額
40周年記念事業積立金取り崩し	3,400,000
収入	262,000
支出	4,812,891
プレイベント	276,378
本イベント	585,970
40周年記念冊子	1,666,343
ロゴ	151,200
広告宣伝費	2,133,000
差し引き金額	-1,150,891

貸借対照表

2019年 3月 31日現在

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

(単位：円)

資産の部		負債及び剰余金の部	
現金	59,181	預り金	34,269
普通預金	8,521,078	未払費用	170,514
前払費用	45,700	前受金	1,050,000
電話加入権	72,800	基本金	7,752,746
保証金	35,000	前期繰越正味財産額	102,499
		正味財産増加額	574,622
		40周年記念事業積立金	△ 1,150,891
		調査費積立金	200,000
合計	8,733,759	合計	8,733,759

正味財産増減計算書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 資産増加額	
基本金取崩し	1,150,891
増加額合計	1,150,891
II 減少の部	
1. 資産減少額	
40周年記念事業積立金	-1,150,891
減少額合計	-1,150,891
当期正味財産増加額	574,622
前期繰越正味財産額	102,499
合計額	677,121

財産目録

2019年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現 金 手許有高	59,181	未払費用 3月給与	170,514
普通預金 三菱東京UFJ銀行原宿支店	8,084,039	前受金 翌期会費	1,050,000
" " (関西支部)	182,244	預り金 源泉所得税	34,269
" " (九州支部)	254,795		
前払費用			
" 関西支部大会会場費手付	45,700		
" 九州支部大会会場費手付		流動負債合計	1,254,783
流動資産合計	8,625,959		
2. 固定資産			
保証金 Y. C. S	35,000		
電話加入権	72,800		
固定資産合計	107,800		
資 産 合 計	8,733,759	負 債 合 計	1,254,783

監査報告書

定款第 32 条より 2018 年度の会務並びに会計につき監査を行った結果、
下記のとおり報告いたします。

記

1. 会務は滞りなく運営され、予算の執行状況は適正である。
2. 現金、預金については適正、確実に管理保管されている。
3. 帳簿および証拠書類は正確に記入、保存されている。

2019 年 4 月 5 日

一般社団法人 日本ヒーブ協議会

監 事 脇田 真知



監 事 小野 真由美

